

熊本県水産研究センター 資源研究部  
TEL 0964-56-2511, FAX 0964-56-4533

## 沿岸資源動向調査結果概要 (H29, H30, R1 タチウオ)

平成29年度(2017年度)、平成30年度(2018年度)及び令和元年度(2019年度)の、タチウオの卵及び仔稚魚数についての調査結果をお知らせします。

調査は図の箇所において、円形稚魚ネット(直径1.3m)を用いて、昼間に表層及び中層曳きにより実施しました。



調査定点図

### 1 結果概要

有明海4定点、八代海4定点、天草海2定点で調査を行い、海域ごとの平均値を示しました。

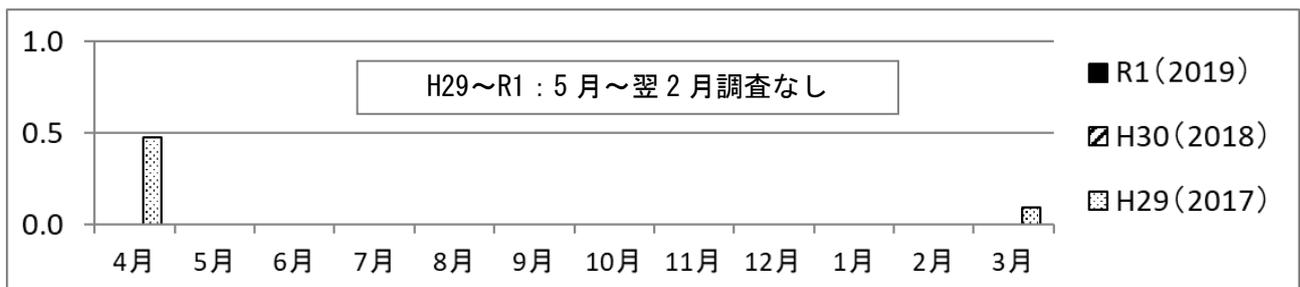
#### (1) 有明海(卵)

卵は採集されませんでした(H29~R1:5月~翌2月調査なし)。

#### (2) 有明海(仔稚魚)

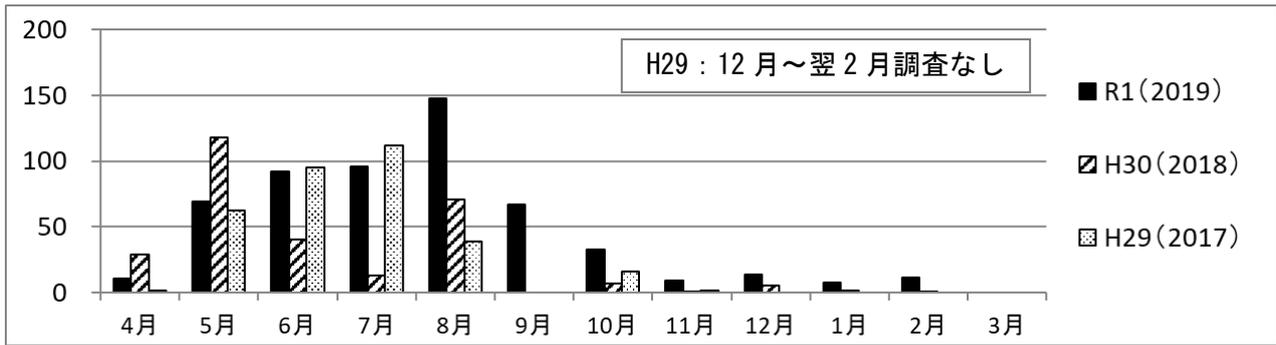
平成29年度(2017年度)は4月に0.47尾/1,000m<sup>3</sup>、翌3月に0.09尾/1,000m<sup>3</sup>採集されました。

平成30年度(2018年度)及び令和元年度(2019年度)は、仔稚魚は採集されませんでした。



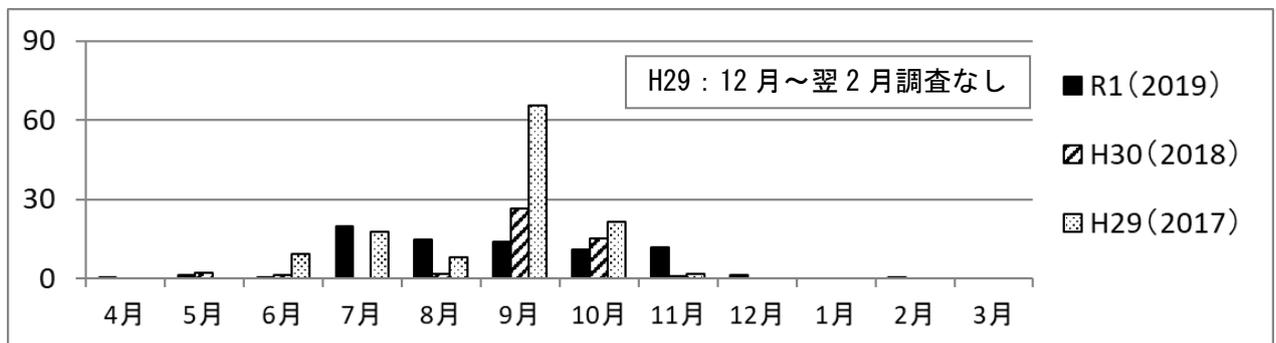
(3) 八代海 (卵)

直近3年間では、令和元年度(2019年度)に最も多く採集され、8月に最大の148粒/1,000 m<sup>3</sup>でした。



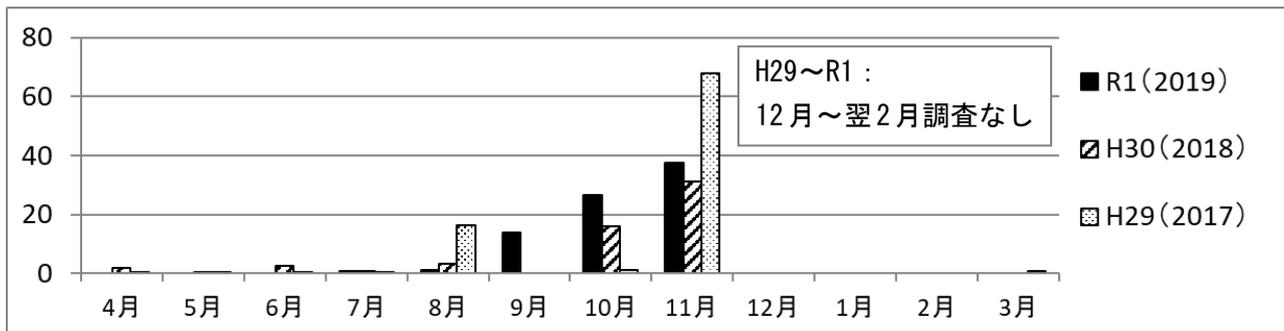
(4) 八代海 (仔稚魚)

直近3年間では、平成29年度(2017年度)に最も多く採集され、9月に最大の66尾/1,000 m<sup>3</sup>でした。



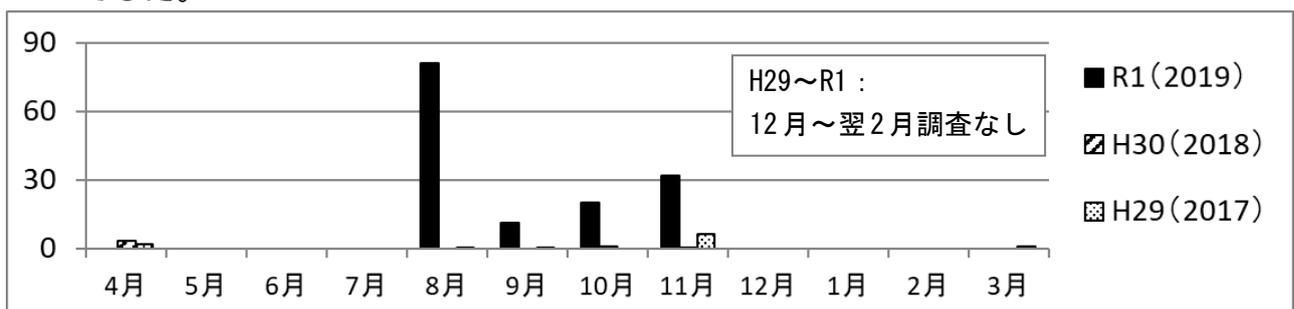
(5) 天草海 (卵)

直近3年間では、令和元年度(2019年度)に最も多く採集され、11月に最大の38尾/1,000 m<sup>3</sup>でした。



(6) 天草海 (仔稚魚)

直近3年間では、令和元年度(2019年度)に最も多く採集され、8月に最大の81尾/1,000 m<sup>3</sup>でした。



※グラフの縦軸は、海水1,000立方メートル当りの卵仔稚魚の出現数を表しています。